

(1)所管事業の評価

総合評価の割合	 期待を上回る 0.0%	 概ね順調 100.0%	 限定的効果 0.0%	 成果不十分 0.0%
---------	--	--	---	---

(2)所管事業のコスト(単位:千円)

	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	R8見込	R4～R7 合計	事業費に占める 一般財源の比率
事業費 総額	67,960	69,711	72,607	71,960	71,960	282,238	67.0%
市の実質負担額 総額	42,573	44,869	49,882	51,658	56,990	188,982	

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	06260	事業名	妊産婦付加金		事業コード	51000	担当課	保険年金課
事業概要	市単独事業であり、国民健康保険に加入して母子健康手帳の交付を受けた者に、母子健康手帳の交付を受けた月から出産日の翌月までにかかった保険適用治療の一部負担金相当額（医療機関における自己負担額）を支給する。							
経緯等	付加金を支給し、妊産婦の経済的な負担を軽減し、出産しやすい環境を整えるため。旧旭市、旧飯岡町では同様の事業を実施。旧海上町、旧干潟町では取り扱いなし。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	広報等で制度を周知し、旭市国保加入の妊産婦付加金支給対象者に申請書を送付する。		申請を受け付け、対象者に妊産婦付加金を支給する。			妊産婦の経済的な負担軽減が図れ、必要な治療を必要な時期に受けることができ、安心して妊娠、出産をしやすい環境が整う。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	妊産婦付加金支給者数	75	81	73	61	32	30
	活動指標イ	広報掲載回数	1	1	1	1	1	1
	成果指標ア	妊産婦付加金申請率(%)	90	93	92	95	94	95
	成果指標イ		0	0	0	0	0	0
費用(千円)	一般財源・基金等市の実質負担額		2,855	3,166	1,866	2,168	1,220	
	その他(補助金・地方債等)		0	0	0	0	0	
	歳出額(総額)		2,855	3,166	1,866	2,168	1,220	
課題等	未申請が何件かあるため、時効が近くなっても申請ない場合、通知や電話で勧奨を行う。							
令和8年度方針	令和8年度で制度廃止だが、令和8年3月までは対象になるので引き続き対象者に申請書を送る。未申請者がいた場合は、必ず再通知を送る。							

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	22090	事業名	短期人間ドック事業		事業コード	53200	担当課	保険年金課
事業概要	指定医療機関で短期人間ドック及び脳ドックを受検する国民健康保険被保険者に検査費用の一部を助成する。(検査費用の70%、上限有り) 【対象者】35歳以上の国民健康保険加入者で、前年度分の国保税を完納していること、医師の治療を受けていないこと又は治療を受けているが支障がないこと、年度内に短期人間ドックや特定健診を受診していないこと、病院から市への検査結果の情報提供を承諾いただけること。 【指定医療機関】6箇所（旭中央病院・島田総合病院・東庄病院・匝瑳市民病院・国際医療福祉大学成田病院・田辺病院）							
経緯等	国保被保険者の疾病の予防、早期発見および早期治療に役立たせることにより、健康保持増進と国民健康保険事業の健全運営を図るため。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	広報やホームページ等で短期人間ドック受検および助成金の情報提供をする。		短期人間ドックの費用を一部助成することで、本人負担を軽減する。 結果表により健康状態やリスク状況の把握ができる。			国保加入者の疾病の予防、早期発見、早期治療に役立つ。 健康保持増進および国民健康保険事業医療費の軽減が図られる。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	短期人間ドック受検者数	750	780	779	790	860	860
	活動指標イ	指定医療機関数	5	5	6	6	7	7
	成果指標ア	35歳以上の受検率	5.5	5.6	6.6	6.7	7.2	7.2
	成果指標イ		0	0	0	0	0	0
費用(千円)	一般財源・基金等市の実質負担額		22,617	23,187	25,503	26,145	27,130	
	その他(補助金・地方債等)		2,518	2,642	2,699	2,801	3,135	
	歳出額(総額)		25,135	25,829	28,202	28,946	30,265	
課題等	オンライン申請が増えたことにより、申請から受検日までの期間が短く、受検日までに承認書の到着が間に合わないことが懸念される。							
令和8年度方針	受検率拡大のため、広報紙やホームページでの周知、またオンラインでの受付により市役所に来庁する負担を軽減する。							

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	22100	事業名	後期高齢者短期人間ドック助成事業		事業コード	-	担当課	保険年金課
事業概要	指定医療機関で短期人間ドックを受検する後期高齢者医療被保険者に検査費用の一部（費用の70％、上限3万円）を助成する。 【対象者】後期高齢者医療制度の加入者で、次の要件をすべて満たしている方 ・後期高齢者医療保険料を完納していること ・医師の治療を受けていない又は受けているが短期人間ドックの受検に支障がない ・特定健康診査又は後期高齢者健康診査を受診していないこと ・病院から市への検査結果の提供を承認いただけること 【指定医療機関】旭中央病院、島田総合病院、匝瑳市民病院、国際医療福祉大学成田病院、田辺病院							
経緯等	国民健康保険が人間ドックの助成を実施していることもあり、「後期高齢者医療被保険者にも人間ドックの助成をしてほしい」との声があり、令和2年度までは、千葉県後期高齢者医療広域連合からの補助金もあったため事業を開始した。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	市内外の医療機関と交渉し、人間ドック受診時の助成制度の仕組みづくりと、助成対応		受検可能枠の増加			健康寿命が延伸することで、高齢者の社会参加が促進され、地域全体の医療費適正化につながる		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	助成件数枠の確保	172	228	275	375	375	375
	活動指標イ	指定医療機関数	4	4	4	5	5	5
	成果指標ア	受診率の推移	2	2	3	3	3	4
	成果指標イ		0	0	0	0	0	0
費用（千円）	一般財源・基金等市の実質負担額		4,035	5,007	6,833	7,506	8,105	
	その他(補助金・地方債等)		1,526	1,913	2,670	2,962	3,192	
	歳出額(総額)		5,561	6,920	9,503	10,468	11,297	
課題等	後期高齢者医療被保険者については、加療も多くなる傾向があるため、「全員一律の検査」ではなく、年齢や既往歴に応じて本当に必要な項目を選択していく仕組みの構築も課題になっていくと認識している。							
令和8年度	健康意識の向上のためにも、受検希望のある対象者が全員受検できるよう、引き続き広報等で周知を図りながら事業を実施していく。							

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	22140	事業名	滝郷診療所の充実		事業コード	55200	担当課	保険年金課
事業概要	地域医療機関として健全な運営、管理に努め、安心、安定した医療を提供するとともに、かかりつけ医として診療等を行う。							
経緯等	医療機関がない地域に、診療施設を設置するため開設した。 市民のかかりつけ医として診療等を行っている。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	地域医療機関として診療・健診等を行う。		医療機関がない地域住民に対して、安定した医療を提供する。			市民のかかりつけ医として、安心・安定した医療を提供することにより、市民の健康及び生活環境の向上となる。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	診療日数	187	189	177	175	185	180
	活動指標イ	レセプト件数	4995	5241	4711	4040	4237	4500
	成果指標ア	1日平均レセプト件数（レセプト件数/診療日数）	27	28	27	23	23	25
	成果指標イ		0	0	0	0	0	0
費用（千円）	一般財源・基金等市の実質負担額		13,066	13,509	15,680	15,839	20,535	
	その他（補助金・地方債等）		21,343	20,287	17,356	14,539	23,021	
	歳出額（総額）		34,409	33,796	33,036	30,378	43,556	
課題等	施設の整備（電子カルテの導入）、施設の耐震と老朽化。 地域の高齢化や人口減少により、受診者数が減少しており、定期の受診者数が増えない。							
令和8年度方針	予約診療を継続し、安定した医療の提供を行う。 健診や予防接種等を行い、定期的な受診に繋げていく。							